

資料1 令和5年度DX推進関連事業について

1 事業の方向性

①デジタル県庁の実現

行政手続が窓口に行かずに、ワンストップ・ワンズオンリーででき、公金収納はキャッシュレス化され、申請から行政サービスの提供までデジタルで処理できるなど、デジタルファースト、デジタルシフトが実現された県庁を目指す取組。

②データドリブンの推進

行政における課題解決のための施策立案や、行政以外のビジネスの意思決定などを行うために、様々な種類のデータを蓄積・整理し、分析に繋げようとする取組。

③デジタル人材の育成・確保

行政、産業、暮らしの分野において、様々な課題の解決や県民のQOL向上のために、デジタル技術を活用できる人材の育成・確保に向けた取組。

④多分野連携による取組

デジタル技術を活用することで可能となる分野間の連携を図ることで、新しい価値やサービスの創出を目指す取組。

⑤スマートしがの実現

県内の地域において、県民・民間企業等と連携しながら、デジタル技術やデータを活用した新しいサービス等で、誰一人取り残すことなく、人々の暮らしをより良くする取組。

2 目指す効果

【暮らし】

すべての県民が、健康で快適な暮らしと環境に配慮した豊かな生活を実感

【産業】

高付加価値化や省力化、生産性・安全性の向上による、持続可能な産業を実現

【行政】

時間や場所を問わない、ワンストップで県民本位の行政サービスが実現

【基盤づくり】

誰もが利用できる環境の整備

【ひとづくり】

デジタル人材の育成・活躍

3 令和5年度滋賀県DX推進戦略実施計画の策定

「滋賀県DX推進戦略」に基づき、県が取り組むデジタル社会の形成に関する施策を具体化し、着実に進めていくため、各施策における事業の内容や目標等を明らかにした実施計画を策定。

資料1 令和5年度DX推進関連事業について

事業名	事業概要	担当課
デジタルツール全庁展開による業務改革事業	AI、RPA、ノーコード・ローコードツールの全庁展開を推進し、業務の自動化・効率化を図り、業務改革および働き方改革を実現する。	DX推進課
「幻の安土城」復元プロジェクト・平成の調査整備資料のデジタル化	平成の特別史跡安土城跡調査整備事業で得た資料（記録VTR・調査写真・調査図面）のデジタルデータ化を行い、多くの方が資料に容易にアクセスできるようにすることで、安土城関連の出版物やTV番組への活用や調査研究資料としての活用を促進する。	文化財保護課
地理情報システム（GIS）を用いた生物分布デジタルマップ作製	地理情報システム（GIS）を用いて、県内の生物・植物・民俗資料等の分布を示すデジタルマップを作成し公開する。生物等の潜在分布を可視化し、生育環境を知る学習材料を整備する。	環境政策課 （琵琶湖博物館）
企業人材のDXスキル強化支援事業	県内中小企業の継続的なDX推進に資する社内システムインテグレーターを育成する。 また、その取組を横展開することで、県内中小企業におけるDXの取り組みを加速する。	モノづくり振興課
安全安心なサイバー空間構築推進事業	子供を対象としたインターネットに関連する犯罪被害の注意喚起を促すサイバー防犯教室、事業者を対象としたサイバーセキュリティセミナーを実施する。	県警サイバー犯罪対策課
サイバー犯罪捜査・解析技術の高度化・精密化事業	高性能解析機器の配備及び民間で行われている講習の受講や、関連企業への派遣研修等による人材育成により物的・人的両面でサイバー分野での捜査能力を高度化していく。	県警サイバー犯罪対策課